

## 「NEXCO東日本 総合技術センター」の整備について

1. 施設名称 NEXCO東日本 総合技術センター
2. 場所 さいたま市岩槻区  
(東北自動車道 岩槻インターチェンジ)
3. 施設の目的 維持管理業務を主体とした技術開発の推進と、技術者の育成・技術力の向上
4. 施設の概要
  - 建物
    - ・岩槻新社屋：鉄骨造4階建(延床面積約 6,300 m<sup>2</sup>)
    - ・開発・実習棟：鉄骨造平屋建(延床面積約 1,000 m<sup>2</sup>)
    - ※総合技術センター：新社屋1・2F 部分および開発・実習棟
  - 研究・技術開発設備  
NEXCO 東日本の重要課題である雪氷技術の研究をはじめ、NEXCO 東日本グループで開発している構造物点検技術や非破壊検査技術の性能検証を行うための設備を整備。
  - 研修設備  
減少する建設現場での経験を補完し、構造物の劣化メカニズムや技術基準の変遷などの理解を深めるために体験・体感型の研修設備を整備。  
あわせて、ETC設備など料金業務の現場環境を再現した施設を整備。
5. 運用開始時期 平成30年度内(料金研修施設を含めた全体の完成は来夏頃を予定)
6. 完成イメージ



全体鳥瞰図



新社屋 イメージパース